

4 衛生費 1 保健衛生費 1 保健衛生総務費

② 保健衛生事務費（健康推進課）

- 1 保健師・栄養士活動に必要な各種研究会・研修会に参加した。
- 2 各種保健予防事業を遂行するにあたり、乙訓二市一町及び(社)乙訓医師会、乙訓保健所等で構成する各種会議を行った。

今年度は、特定健康診査等小委員会の事務局として、会議運営を行った。

乙訓二市一町と(社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会 3回

乙訓二市一町と(社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会特定健康診査等小委員会 7回

特定健康診査等行政調整会議 3回

乙訓保健予防行政事務協議会 13回

乙訓保健事業運営委員会 10回

3 新型インフルエンザ対策

平成21年4月に新型インフルエンザが発生したことに伴い、感染拡大防止・健康被害及び市民生活への影響を最小限にとどめるため、以下の対策を行った。

(1) 新型インフルエンザ対策に関する対策本部及び庁内会議の開催

ア 向日市新型インフルエンザ危機管理調整会議の開催 1回

イ 向日市新型インフルエンザ危機管理対策会議の開催 4回

ウ 向日市新型インフルエンザ危機管理対策本部の設置（平成21年5月21日）

エ 向日市新型インフルエンザ危機管理対策本部会議の開催 2回

(2) 市民に対する情報提供

ア 広報むこう及びホームページに関連記事の掲載 21回

イ 広報むこう及びホームページに新型インフルエンザニュースの連載 6回

ウ 公共施設に感染予防啓発チラシの設置及びポスターの掲示 5回

エ 感染予防チラシの各戸配布 2回

オ 妊婦・乳幼児向けチラシの配布

(3) 公共施設に消毒薬の設置

(4) マスク・消毒薬等の備蓄

(5) 新型インフルエンザワクチン接種について（2 予防費①予防接種費から支出）

ア 新型インフルエンザワクチン接種に関する情報提供の実施（広報・ホームページ）

イ 新型インフルエンザワクチン接種費用について低所得者に対する公費負担を行った。

ウ 新型インフルエンザワクチンの集団接種を済生会京都府病院において、乙訓医師会、京都府乙訓保健所、長岡京市、大山崎町と合同で実施した。

接 種 日：平成22年1月10日及び1月31日

対 象 者：満1歳から小学3年生までの幼児及び児童

接種状況：申込者 186人 1回目接種者 174人 2回目接種者 145人

4 向日市食育推進計画の策定

本市では食育について、地域や学校、保育所など様々な分野でそれぞれの施策を展開してきたが、今後より一層連携を図り、市民一人ひとりが、心身ともに健康で豊かな生活ができる地域づくりを目指し、食育推進計画の策定を行った。

食育推進計画懇談会（４回）及び庁内担当者会議（７回）を開催し、計画策定を行った。

③ 地域医療対策費（健康推進課）

乙訓休日応急診療所運営事業・在宅外科当番医制事業及び病院群輪番制病院運営事業により、休日及び救急時の医療を確保し、市民が安心できる医療体制の整備を図った。

1 乙訓休日応急診療所利用状況

（単位：人）

診療 日数 71日	合 計	年齢別内訳			病 類 別 内 訳				居 住 地 別 内 訳				
		0～ 5歳	6～ 15歳	16歳 以上	呼吸器	消化器	循環器	その他	向 日 市	長岡京市	大山崎町	京 都 市	
患者数 (人)	6,040	2,496	1,813	1,731	4,601	887	10	542	1,547	2,815	362	1,133	
構成比 (%)	100.0	41.3	30.0	28.7	76.2	14.7	0.2	9.0	25.6	46.6	6.0	18.8	

2 在宅外科当番医制事業利用状況

（単位：人）

診療 日数 (71日)	外科受 診者数	年 齢 別 内 訳				住 所 別 内 訳			二次後送 の 人 数
		0 歳～ 6 歳	7 歳～ 15歳	16歳～ 64歳	65歳 以上	向日市	長岡京市	大山崎町	
患者数	381	65	43	183	90	115	225	41	3
1 日 平 均	5.4	0.9	0.6	2.6	1.3	1.6	3.2	0.6	

実施医療機関実数：26施設（診療所21、病院5）

実施医療機関延べ数：71施設（診療所22、病院49）

3 病院群輪番制病院運営事業利用状況

（単位：人）

居住地区分		入 院					入 院 合 計	外 来					外 来 合 計	総 計
		内 科	外 科	小児科	脳外科	その他		内 科	外 科	小児科	脳外科	その他		
乙 訓	向 日 市	12	3	4	2	9	30	68	60	266	8	33	435	465
	長岡京市	9	5	14	3	7	38	113	100	365	10	85	673	711
	大山崎町	3	3	1	0	0	7	14	16	55	2	10	97	104
京 都 市		363	156	71	34	93	717	1,442	1,007	2,338	73	253	5,113	5,830
そ の 他		58	20	23	11	30	142	248	174	699	17	74	1,212	1,354

④ 献血推進対策費（健康推進課）

市内 5 会場において、献血運動を行った。

実施回数	来所者数	採血者数	200ml 献血	400ml 献血
14 回	431 人	358 人	6 人	352 人

⑤ 保健センター等管理運営費（健康推進課）

保健センター（昭和58年度開設）の運営に伴う維持管理に要する経費を執行した。保健センターは、平成14年10月から子育てセンター「すこやか」と家庭児童相談室、さらに平成15年度からファミリーサポートセンターが併設され、健康推進課と合わせて 4 部門が共用する多機能施設となっている。

	成人保健関係	母子保健関係	子育てセンター	ファミリーサポートセンター	家庭児童相談室
事業開催回数	90 回	291 回	58 回	11 回	
延べ参加者数	3,169 人	6,241 人	1,739 人	369 人	40 人
会議・研修会等の開催回数	5 回	10 回	11 回	28 回	16 回

4 衛生費 1 保健衛生費 2 予防費

① 予防接種費（健康推進課）

予防接種事業

予防接種法に基づく定期予防接種（ジフテリア・百日せき・破傷風・急性灰白髄炎・麻しん・風しん・日本脳炎）を実施した。

1 集団接種

種 別	対 象	通 知 者 数	実施実人数	接 種 率
急性灰白髄炎（ポリオ）	平成19年11月1日～平成21年4月30日生	1,069 人	984 人	92.0 %

2 個別接種

種 類		対 象 者	対象者数	接種者数	接 種 率
三種混合	1 期初回	平成20年11月 1 日生～平成21年10月31日生	延べ 1,476 人	1,477 人	100.1%
	1 期追加	平成19年12月 1 日生～平成20年11月30日生	492	531	107.9%
	2 期	平成 9 年 4 月 2 日生～平成10年 4 月 1 日生	536	416	77.6%
麻しん風しん 第 1 期		平成20年 4 月 1 日生～平成21年 3 月31日生	533	526 (うち 3 人は依頼書により他市で接種)	98.7%
麻しん風しん 第 2 期		平成15年 4 月 2 日生～平成16年 4 月 1 日生	536	518 (うち 2 人は依頼書により他市で接種)	96.3%
麻しん風しん 第 3 期		平成 8 年 4 月 2 日生～平成 9 年 4 月 1 日生	531	441 麻しん 単抗原 1	83.2%
麻しん風しん 第 4 期		平成 3 年 4 月 2 日生～平成 4 年 4 月 1 日生	451	363 (うち 3 人は依頼書により他市で接種)	79.8%
日本脳炎第 1 期		3 歳～ 7 歳半未満	—	114	—
日本脳炎第 2 期		9 歳～13歳未満	—	1	—
インフルエンザ		65歳以上の人	11,870	5,262	44.3%
		60～64歳で身障内部疾患 1 級相当の人			

※ 日本脳炎予防接種は、積極的勧奨を差し控え、接種希望者にのみ接種を行った。

3 新型インフルエンザ予防接種費用給付事業

平成21年11月から、新型インフルエンザ予防接種対象者のうち生活保護世帯及び当該年度分の市民税非課税世帯の人に接種費用の給付を行った。

＜給付額＞ 1回目： 3,600円

2回目： 1回目と同一医療機関で接種した場合 2,550円

1回目と異なる医療機関で接種した場合 3,600円

＜給付実績＞ 平成22年3月末までに交付決定された人数

1回接種	2回接種
377 人	50 人

② 結核予防費（健康推進課）

結核予防対策事業

平成19年4月に結核予防法が廃止されたことに伴い、予防接種法による定期予防接種として、生後6か月までの乳児を対象にBCG予防接種を実施した（乳児前期健診と同時実施）。

また、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、65歳以上の市民を対象に定期健康診断として胸部エックス線検査を肺がん検診と同時に市内8会場（5日間）で実施した。

1 定期接種

種 別	対 象	回 数	対象者数	接種者数	接 種 率
B C G	平成20年12月11日～ 平成21年12月8日生	21 回	499 人	495 人	99.2 %

2 任意BCG接種助成事業

平成19年度から、基礎疾患を有するために生後6か月までにBCG接種をできなかった乳児が、生後6か月から満1歳未満の間に任意のBCG接種を受けた場合の費用助成を行った。

助成人数 1人

3 胸部エックス線検査

結核検査（間接撮影）

実 施 月	実施回数	受診者数	要精検者数	精 検 結 果			未 受 診
				異常なし	結 核	要 観 察	
10月	10 回	917 人	18(13) 人	5 人	1 人	9 人	3 人

※（ ）内は肺がん検診の結果、要精検となった人数

4 衛生費 1 保健衛生費 3 成人保健費

① 成人保健事業費（健康推進課）

1 健康診査事業

(1) 30歳代の健康診査

「自分のからだに適した生活習慣となっているか」を確認し、健診結果を活用して生涯にわたって自覚的に健康づくりが進められるよう、30歳代の市民を対象とした健康診査を、保健センターで3日間実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長・体重・腹囲）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白・糖）、血液検査（赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値・GOT・GPT・γ-GTP・LDLコレステロール・中性脂肪・HDLコレステロール・尿酸・クレアチニン・血糖・ヘモグロビンA1c）

イ 受診状況

受診者数
428 人

(2) 健康増進法による健康診査

生活保護を受給されている方など特定健康診査を受ける機会がない市民に対して、9月から11月までの3か月間、個別医療機関において健康診査を実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長・体重・腹囲）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白・糖）、血液検査（赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値・GOT・GPT・γ-GTP・LDLコレステロール・中性脂肪・HDLコレステロール・尿酸・クレアチニン・血糖・ヘモグロビンA1c）、必要者には心電図

イ 受診状況

	受診者数	メタボ基準該当	メタボ予備軍	その他
生活保護を受給されている方	33 人	4 人	5 人	24 人
国保異動者 (国保会計負担)	33 人	5 人	2 人	26 人

(3) 長寿(後期高齢者) 健康診査

後期高齢者医療対象の方について、個別医療機関において9月から11月までの3か月間、健康診査を実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長・体重）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白・糖）、血液検査（赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値・GOT・GPT・γ-GTP・LDLコレステロール・中性脂肪・HDLコレステロール・尿酸・クレアチニン・血糖・ヘモグロビンA1c）、心電図

イ 受診状況

受診者数
2,018 人

2 がん検診事業など

(1) 胃がん検診

40歳以上の市民を対象に、保健センターにおいて8日間実施した。受診率を向上させるため、今年度から午後の胃がん検診を開始し、また、乳がん検診と同時に受診できる枠を設けるなどの工夫をした。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	胃 が ん	他病	不明	
752 人	606 人	146 人	19.4 %	6人	0人	127人	1人	12 人

(2) 子宮がん検診

ア 子宮頸がん検診

(ア) 和暦で奇数年生まれの20歳以上の女性を対象に、4月から翌年2月末までの11か月間、委託医療機関において実施した。（実績には無料クーポン券対象の受診者も含む。）

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未受診
				異常なし	子宮がん	異形成	他 病	不 明	
1,395 人	1,379 人	16 人	1.1 %	1 人	0 人	2 人	2 人	2 人	9 人

(イ) 女性特有のがん検診推進事業

20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の対象者に「女性のためのがん検診手帳」と「無料クーポン券付き子宮頸がん検診受診票」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
1,929 人	442 人	22.9 %

*受診者数は再掲

(ウ) 妊婦健康診査の1項目として、子宮頸がん検査を実施した。

受診者数
481 人

* 受診者数は再掲

イ 子宮頸がん検診を受診した方で、ハイリスク者及び医師が必要と認める方を対象に実施した。

受診者数	異常なし	判定不能	要精検者数	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
					異常なし	子宮体がん	他 病	不 明	
256 人	250 人	6 人	0 人	0.0 %	0 人	0 人	0 人	0 人	0

(3) 乳がん検診

ア 医師による視触診とマンモグラフィ撮影（乳房専用レントゲン撮影）により、40歳以上の和暦で奇

数年生まれの女性を対象に、保健センターにおいて16日間実施した。

また、保健師により「自己触診法」の健康教育と「私の健康記録」の配布を同時に行った。

（実績及び検診日数には、女性特有のがん検診推進事業も含む。）

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果								精検未受診
				異常なし	乳がん	乳がんの疑い	線維腺腫	のう胞症	乳腺症	その他の疾患	判定不能	
1,213人	1,078人	135人	11.1%	49人	4人	2人	17人	18人	34人	5人	1人	5人

イ 女性特有のがん検診推進事業

40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の対象者に「女性のためのがん検診手帳」と「乳がん検診無料クーポン券」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
2,138 人	575 人	26.9 %

*受診者数は再掲

(4) 肺がん検診

40歳以上の市民を対象に、結核検診と同時に市内8会場（5日間）で実施した。また、65歳以上の受診者には同時に結核検診も行った。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果						精検 未受診
				異常なし	肺がん	肺がん の疑い	経過観 察	他 病	不 明	
1,395人	1357人	38人	2.7%	11	2人	2人	0人	16	2人	人

必要者には、喀痰細胞診検査も行った。

対象者数	受検者数
78人	73人

(5) 大腸がん検診

40歳以上の市民を対象として、問診及び便潜血検査（免疫便潜血二日法）による検診を実施した。

保健センターにおける集団方式は、胃がん検診と同時に9日間行った。個別方式は、乙訓大腸がん検診委託医療機関において9月から11月までの3か月間実施した。

ア 集団方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
		便潜血陽性		異常なし	大腸がん	他 病	不 明	
243 人	221 人	22 人	9.1 %	8 人	0 人	13 人	0 人	1 人

イ 個別方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
		便潜血陽性		異常なし	大腸がん	他 病	不 明	
3,294 人	2,999 人	295 人	9.0 %	59 人	9 人	141 人	0 人	86 人

(6) 前立腺がん検診

55歳以上の男性を対象に乙訓前立腺がん検診委託医療機関で、9月から11月までの3か月間、PSA値測定（前立腺特異抗原検査）を実施した。（ ）内は、向日市国民健康保険による保健事業として実施した再掲人数である。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未受
				異常なし	がん	肥大	他	不明	
1,758 人 (1,028 人)	1,631 人	127 人	7.2 %	11 人	12 人	57 人	0 人	0 人	#人

(7) 肝炎ウイルス検診

40歳の節目に当たる人を対象として、乙訓肝炎ウイルス検診委託医療機関で、9月から11月までの3か月間、C型及びB型肝炎ウイルス検診を実施した。対象者に通知を行った。

	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精検受診者	精検受診率	未受診者
C 型	241 人	241 人	0 人	－ %	－ 人	－ %	－ 人
B 型	241 人	238 人	3 人	1.2 %	1 人	33.3 %	2 人

2 健康教育

(1) 「脱!メタボ」チャレンジ講座

メタボリックシンドローム解消のための実践講座として、自分の体の状態に適した食生活改善を目指す健康教室を実施した。また、自分の食事を振り返るための調理実習も行った。

実施回数	参加実人員	延べ参加者数
3 回	6 人	17 人

(2) 健康づくり出前講座

おおむね10人以上の向日市民で構成する団体やグループに保健師や栄養士が出向いて、健康づくり講座を実施した。内容は、「生活習慣病予防」「若さを保とう、高齢期」「がん予防を考える」「たばこの害について」の4つのテーマから選択してもらい、各団体の希望に添って行った。

実施団体数	延べ実施回数	延べ参加者数
23 団体	61 回	648 人

(3) 歯のひろば

新型インフルエンザの流行が懸念されたため、中止となったが、開催予定日に保健センターに来所した人には歯ブラシを配布した。 歯ブラシ配布者数：56人

3 健康相談

(1) 健康診査結果相談会

特定健康診査等の受診後に健診結果を活用した生活習慣改善を支援するために保健センターにおいて、保健師・管理栄養士による個別相談を実施した。市が行う健診以外の受診者も対象とし、必要に応じて健康手帳やパンフレットを配布した。

ア 健康診査結果相談会

実施回数	参加者数	栄養相談	保健相談
9 回	23 人	19 人	18 人

イ 30歳代の健康診査結果説明会

実施回数	参加者数
2 回	7 人

(2) 各種健（検）診等あらゆる機会を捉えて、血圧測定、食事指導・生活指導等の健康相談を実施した。

実施回数	参加者数
63 回	3,662 人

4 訪問指導

保健師、看護師、管理栄養士による訪問指導を実施した。がん検診の結果説明訪問や健診後の要指導者に対する訪問を行った。

	要指導者等	閉じこもり予防	寝たきり	認知症者	その他	計
実人員	124 人	2 人	3 人	0 人	11 人	140 人
延べ人員	139 人	5 人	11 人	0 人	58 人	213 人

5 健康手帳の配付

市民の自覚的な健康づくりに役立ててもらえるよう、各種健（検）診の記録や正しい食生活に関する資料、身近な健康づくり情報を盛り込んだ「私の健康記録」を作成し配付した。

配付数：463冊

6 その他の健康づくり

市民の主体的な健康づくりを支援するチャレンジウォークを実施した。

(1) 健康ウォークデーの推進

健康づくりのための歩く運動を推奨するため、平成10年4月から毎月23日を健康ウォークデーとし、健康ウォークデーの制定趣旨を広めている。

(2) チャレンジウォーク

市民の自主的な健康づくりを応援するため、平成15年度から開始している。いつでも、誰でも気軽に始められるウォーキングが継続的に取り組めるよう「ウォーキングパスポート」を配布した。

新規登録者	9 人
延べ認定者数	44 人

4 衛生費 1 保健衛生費 4 母子保健費

① 母子保健事業費（健康推進課）

1 乳幼児健康診査

乳児前期健康診査、乳児後期健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を実施した。

健診内容は、内科及び歯科健診（1歳6か月児・3歳児）による疾病のチェック及び発達観察・保健・栄養・歯科指導等であった。

3歳児健康診査では、視力検査、尿検査も実施している。

		実施回数	対象児数	受診児数	健康診査結果		
					異常なし	要精検 要注意	
乳児前期健康診査		21 回	497 人	493 人	266 人	227 人	0 人
乳児後期健康診査		12	527	518	313	205	0
1 歳 6 か 月 児 健 康 診 査	一 般	12	532	520	313	207	0
	歯 科	12	532	519	456	63	0
3 歳 児 健 康 診 査	一 般	12	540	477	306	171	0
	歯 科	12	540	475	326	149	0
	視 覚	12	540	474	420	49	5
	聴 覚	12	540	477	468	7	2

2 3歳児健康診査精密検査

3歳児健康診査の結果、要精検となった児について25医療機関と契約し、精密検査を実施した。

項 目	精密検査対象者 (率)	受診者	受 診 結 果		
			異常なし	経過観察	要 治 療
耳 鼻 科	8 人 1.7 (%)	3	1	1	1 人
眼 科	49 10.3 (%)	28	2	25	1
検 尿	7 1.5 (%)	5	5	0	0
その他の所見	9 1.9 (%)	9	3	6	0

3 妊婦健康診査

平成9年度から母子保健法の改正により、市が実施主体となり実施した。平成20年度から回数を5回に拡充し、平成21年度からは京都・大阪府内産婦人科医療機関及び京都府内助産所に委託し、14回に拡充して実施した。

(単位：人)

	受診者数	健 診 結 果			
		異常なし	要 指 導	要精検	要医療
基本健診（1回～14回） 問診、診察、体重・血圧測定、尿検査、保健指導	延べ 5,882	5,536	239	22	85
前期血液検査（貧血、血糖）	557	533	16	3	5
血液型	511				
中期血液検査（貧血、血糖）	470	385	38	3	44
後期血液検査（貧血）	373	323	32	0	18
血液検査（免疫検査）	545	529	11	3	2
B群溶血性レンサ球菌検査	454	431	11	2	10
HIV抗体価検査	546				
超音波検査（1～4回）	延べ 2,097	2,034	39	5	19

	受診者数	異常なし	要精検	他の疾患
子宮頸がん検査（細胞診）	486	484	2	0

○ 妊婦健康診査助成制度

平成20年度から、委託医療機関以外の産婦人科で妊婦健康診査を受診した人に助成金を交付した。

助成人数

47人（延べ）

内訳 平成20年度の健診一部助成人数 延べ12人

平成21年度の健診一部助成人数 延べ35人

4 健康教育

(1) マタニティスクール

妊婦（配偶者も含む。）を対象に、保健師・助産師・看護師・栄養士による教室を実施した。

実 施 回 数	延 べ 対 象 者 数	延 べ 受 講 者 数	受 講 率
20回 (全4回 5クール)	2,610 人 うち初妊婦 1,155 実人数 602 うち初妊婦 285	297 人 うち初妊婦 112 うち 夫 3	11.5 % うち初妊婦 16.0 %

※ 第2回目をマタニティクッキングとし、向日市食生活改善推進員協議会と共催で実施した。

(2) 離乳教室

離乳食の必要性や実際の与え方、進め方等について、講話や試食を実施した。

実施回数	対 象	対象者数	受講者数	受講率
12 回	生後 4 ～ 5 か月児の保護者	513 人	273 人	53.2

(3) たんぽぽくらぶ

発達情緒面に援助を必要とする児を対象に、児童心理の専門家、保健師、看護師、子育てセンター保育士でグループ指導を実施した。

	回数	来所児数	同伴兄弟	保護者数	結 果 (実 数)	
					ポニーの学校へ紹介	発達相談・ことばの相談等で継続
前 期	6 回	71 人	5 人	72 人	0 人	5 人
後 期	6	127	13	127	6	#

(4) 歯の健康教室

2歳6か月児とその保護者を対象に、乳歯のむし歯予防のみならず、歯と口腔の健康のために、歯科健診、ブラッシング指導に加えて栄養士による食生活指導を実施した。

○ 2歳6か月児歯の健康教室

実施回数	対象児数	来所児数	来 所 率	1 回平均来所児数
5 回	536 人	409 人	76.3 %	81.8 人

○ 歯科健診結果

むし歯保有者	むし歯保有率	総むし歯本数
25 人	6.1 %	69 本

(5) 1歳児教室

乳児後期健康診査で、運動発達・精神発達の援助を必要とする児を対象に、保健師、子育てセンターの保育士でグループ指導を実施した。

実施回数	対 象 者 数	来 所 児 数	参 加 率
6 回	87 人	57 人	65.5 %

(6) 2歳児教室

主に1歳9か月児健康診査で精神発達面の援助を必要とする児を対象に、フォロー教室を実施した。

実施回数	対 象 者 数	来 所 児 数	参 加 率
10 回	105 人	82 人	78.1 %

(7) 心のリフレッシュ講座

子育てに悩みや不安を抱えたり、ストレスをため込んでいる子育て中の母親を対象に、心のリフレッシュを図り、子育てを支援する講座を実施した。

実施回数	来 所 者 数	子 ども 数
10 回	114 人	125 人
(OB会)	9	70

5 健康相談

(1) 健康相談・栄養相談

実施回数	来 所 児 数			1 回 平 均 来 所 児 数
	乳 児	幼 児	計	
20 回	349 人	472 人	821 人	41.1 人

(2) 発達相談・ことばの相談

発達相談は昭和43年から、ことばの相談は昭和51年から開設し、家庭訪問・健診・相談等から発見された児の事後指導として実施した。

	相 談 回 数	来 所 児 数 (実 人 数)	来 所 児 数 (延 べ 人 数)	相談結果				他機関への紹介		
				継 続	助 言 に よ り 改 善	打 切 (転 出 含 む)	就 学	ポ ニ ー の 学 校 へ	こ と ば ・ き こ え 教 室 へ	医 療 機 関 へ
発 達 相 談	93 回	106 人	139 人	76 人	4 人	2 人	24 人	10 人	0 人	4 人
こ と ば の 相 談	12	17	21	8	2	5	2	1	0	3

6 家庭訪問

保健師・助産師による乳幼児等の訪問指導を実施した。

○ 訪問者数 (単位：人)

妊 婦	産 婦	新生児	乳 児	心身障がい児	電話訪問	その他	合計
0	442	9	438	37	39	79	1,044

- 里帰り訪問を平成9年度から実施 10人(再掲)
- 乳児家庭全戸訪問事業 延べ人数425人(再掲)
- 養育支援訪問事業 延べ人数202人(再掲)

7 その他

(1) 2歳6か月児アンケート

2歳6か月児歯の健康教室の案内通知時に、児の発達・育児に関するアンケートを同封した。アンケートは、教室への来所時に回収した。アンケートの結果、必要者には、地区担当保健師が電話等で育児相談や精密検査の受診勧奨などを行った。

通知数	回収数	回収率	結 果					
			異常なし	要 フ ォ ロ ー				
				電話相談	経過観察	要 精 検	連絡とれず	その他乳児訪問等
536	409	76.3%	309 人	37 人	32 人	2 人	16 人	13 人

(2) 乙訓ポニーの学校通園児数

家庭訪問、健康診査、発達相談、ことばの相談等で発見された発達の様々な面で療育を必要とする子どもの通園状況は次のとおりである。

	新規通園児数	小 計	継続通園児数	小 計	合 計	合計
4 月	週 1 回 8 人 月 1 回 1	9 人	週 1 回 26 人 月 1 回 0	26 人	週 1 回 34 人 月 1 回 1	35 人
7 月	週 1 回 2 月 1 回 2	4 人	週 1 回 35 月 1 回 0	35 人	週 1 回 37 月 1 回 2	39 人
10月	週 1 回 1 月 1 回 1	2 人	週 1 回 38 月 1 回 1	39 人	週 1 回 39 月 1 回 2	41 人
1 月	週 1 回 1 月 1 回 3	4 人	週 1 回 38 月 1 回 2	40 人	週 1 回 39 月 1 回 5	44 人

(3) 母子健康手帳交付

母子保健法の改正により、平成 4 年 4 月から母子健康手帳を市民課で交付した。

交付件数 569 件

8 不妊治療助成事業

平成15年10月 1 日から実施。向日市不妊治療助成事業実施要綱に基づき、不妊治療の経済的負担の軽減を図った。

助成者数 110人（延べ）

4 衛生費 1 保健衛生費 5 健康増進施設費

① 健康増進施設管理運営費（健康推進課）

市民の主体的な健康づくりと介護予防を推進するため、平成15年 5 月に向日市健康増進センターを開設した。また、平成18年度から、指定管理者制度を導入し、向日市健康増進センターと向日市民温水プールを一体的に管理している。

指定管理料 : 19,687,000円

② 市民温水プール管理費（健康推進課）

市民温水プール利用状況

1 利用者数

(1) 1.5時間までの利用者数	75,178 人	(月平均 6,265 人)
(2) 1.5時間以上の利用者数	4,750 人	(月平均 396 人)
(3) 無料券及びピロティ利用者数	3,058 人	(月平均 255 人)
(4) 水中ウォーキング（8月は休講）	108 人	(月平均 10 人)
(5) スイミングスクール延べ利用者数(8月は休講)	37,375 人	(月平均 3,398 人)
(6) 市民温水プール利用者数合計	120,469 人	

2 営業日数

319 日

③ 健康増進センター管理費（健康推進課）

健康増進センター利用状況

1 登録者数（月平均）

(1) 定期利用会員数	1,032 人
内訳	市内 481 人 (46.6 %)
市外	551 人 (53.4 %)
(2) 都度利用登録者数	6,519 人
内訳	市内 2,051 人 (31.5 %)
市外	4,468 人 (68.5 %)
(3) 登録者数計	7,551 人
内訳	市内 2,532 人 (33.5 %)
市外	5,019 人 (66.5 %)

2 利用者数（年間延べ利用者数）

(1) 定期利用会員	128,921 人（月平均 10,743人）
(2) 都度利用者	6,700 人（月平均 558人）
(3) 健康増進センター利用者数合計	135,621 人（月平均 11,302人）

3 営業日数 330 日

4 衛生費 1 保健衛生費 6 環境衛生費

① 環境政策事業費（環境政策課）

市民の理解と協力のもとに、暮らしの周辺の環境美化対策を推進し、清潔で美しいまちづくりに努めた

1 環境基本計画の推進

本市の総合的な環境施策の方向性等を示す「向日市環境基本計画」に基づき、環境保全施策を推進した。

(1) 向日市環境基本計画庁内推進会議

環境保全施策への全庁的な取組の推進や進捗管理について検討した。

・開催日：8月11日（火）

(2) 「ノーレジ袋・マイバッグ運動デー」

市民のごみの減量や省資源・省エネルギーに対する意識を高めるため、毎月10・20・30日を「ノーレジ袋・マイバッグ運動デー」とし、30日には街頭啓発を実施した。

(3) 向日市エコ地域推進委員会

- ・向日市環境基本計画に基づき、環境保全活動を計画的かつ持続的に推進する会議等を実施した。
- ・市内のスーパー等の事業所に出向き「ノーレジ袋・マイバッグ運動」の協力依頼を実施した。
- ・年間6回開催

(4) ごみゼロ・向日市一斉クリーン作戦

ごみのないきれいなまちを目指して、市民、団体、事業所、市などが一体となって「ごみ拾い・清掃」を実施した。

・開催日：11月29日（日）

・参加人数：64団体 1,731人

2 狂犬病予防対策

狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施した。

(1) 狂犬病予防集合注射期間	平成21年4月15日（水）～17日（金）	307頭（集合注射実施頭数）
(2) 予防注射頭数	1,691頭	

3 糞害対策

マナーの向上を呼びかける看板の設置、回覧等を行った。

4 ハチ駆除用防護服の貸出支援

ご自身でハチを駆除される場合に安全に作業を行っていただくため、ハチ防護服を貸し出した。

貸出件数 9 件

5 空き地雑草除去対策

空き地の管理についての指導及び暮らしの周辺を取りまく環境美化対策の啓発等を積極的に推進した。

指導件数 3 件

6 不法投棄対策

- ・職員による日々の巡回パトロールを実施した（通年。平日の午後）。
- ・職員による定期的な夜間パトロールを実施した（4月から3月まで。平日の夜間）。
- ・環境整備員による日々の分別ステーション及び付近の巡回パトロールを実施した（通年。平日の午後）。
- ・分別ステーションの適正な維持管理のため、収集日等が守られていないステーションを中心として、巡回パトロールを実施した（5月から10月まで。平日午後1時から3時まで）
- ・立看板の設置等による啓発を行った。

7 ごみの減量と再資源化の推進

ごみの減量と資源の再利用を促進するため、次の事業を実施した。

(1) リサイクル「ひまわり市」の開催

家庭から出る不用品や家庭に眠る不用品の再使用を図るため、フリーマーケットを開催した。

ア 開催日 6月21日（日）（雨天のため中止）、10月25日（日）

イ 開催場所 京都向日町競輪場（6月21日）、向日市役所本館前駐車場（10月25日）

ウ 出店数 100店（6月21日）、60店（10月25日）

(2) 生ごみ堆肥化容器購入費補助

ごみの減量と有効利用を図るため、生ごみ堆肥化容器を購入し、設置する者に対して、購入費の一部を補助した。

年 度	21	20	19	18	17
補助金交付数	17 件	30 件	22 件	28 件	20
補助金交付総額	96,600 円	127,000 円	144,300 円	163,600 円	191,100

※ 平成16年度から、電源を必要とする容器については、補助金の限度額を4,000円から10,000円に変更

(3) 紙パックリサイクル事業

ア 目 的 ごみの減量及び資源の有効利用を図る。

イ 回収量 約1 t

ウ 回収場所 20か所

市役所、公民館（中央、物集女、寺戸、森本、鶏冠井、上植野）

コミュニティセンター（物集女、寺戸、鶏冠井、上植野、西向日）

保育所（5か所）、保健センター、老人福祉センター（桜の径、琴の橋）

8 環境汚染の状況

(1) 公害苦情件数・推移

(単位：件)

年 度 種 別	21	20	19	18	17
大 気 汚 染	4	16	5	14	6
水 質 汚 濁	6	3	3	3	2
騒 音	4	9	1	0	5
振 動	1	0	0	0	0
悪 臭	11	0	4	3	8
そ の 他	4	0	1	0	0
計	30	28	14	20	21

(2) 光化学反応（光化学スモッグ）による大気汚染対策

注意報発令時緊急体制期間 平成21年 5 月 1 日（金）～ 9 月30日（水）

注意報発令件数（乙訓地域） 3 件

9 関係法令及び府条例に基づく特定施設等届出状況

(1) 騒音関係

(単位：件)

種 別	届 出 数
騒音規制法に基づく特定作業実施届出数	33
騒音規制法に基づく特定施設設置事業所数	44
騒音規制法に基づく特定施設数	326
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	50
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	297

(2) 振動関係

(単位：件)

種 別	届 出 数
振動規制法に基づく特定作業実施届出数	15
振動規制法に基づく特定施設設置事業所数	41
振動規制法に基づく特定施設数	261
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	18
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	67

10 調査・測定実施状況

(1) 騒音・振動関係

ア 深夜営業騒音（カラオケ騒音）調査

平成21年 6 月24日（水） 午後10時～午前 0 時

調査実施店舗 43店

イ 環境騒音実態調査（24時間測定）

（ア）道路に面する地域

平成21年11月 9 日（月）～10日（火） 2 地点

（イ）一般地域

平成22年 2 月23日（火）～24日（水） 2 地点

平成22年 3 月 2 日（火）～ 3 日（水） 2 地点

平成22年 3 月11日（木）～12日（金） 1 地点

平成22年 3 月30日（火）～31日（水） 1 地点

（2）大気汚染関係

ア 市内主要箇所における一酸化炭素、一酸化窒素、二酸化窒素濃度調査

（ア）住宅地域②・商業地域・幹線道路沿線

平成21年 6 月16日（火） 午後12時30分～午後 8 時30分 4 地点

（イ）住宅地域②・商業地域・幹線道路沿線

平成21年 6 月17日（水） 午後12時30分～午後 8 時30分 4 地点

イ 市内 2 箇所において特定粉じん（アスベスト）の濃度調査

・工業地域 ・準工業地域 平成21年 9 月10日（木）

（3）水質汚濁関係

ア 公共水域調査（河川、用水路） 4 河川／ 5 地点

第 1 回 平成21年 6 月 9 日（火）

第 2 回 平成21年 9 月 8 日（火）

第 3 回 平成21年12月15日（火）

第 4 回 平成22年 3 月11日（木）

11 環境保全啓発事業

・環境月間 平成21年 6 月 1 日（月）～30日（火）

・環境月間事業 環境保全街頭啓発、公共施設内周辺清掃、クリーンプラザおとくに見学会
河川水質調査、大気汚染調査、カラオケ騒音調査、本のリサイクルデー

・向日市まつりにおいて、地球温暖化防止コーナー設置（11月21日・22日：向日町競輪場内）

4 衛生費 2 清掃費 1 清掃総務費

② 乙訓環境衛生組合費（環境政策課）

乙訓環境衛生組合の運営経費について、応分の負担をした。

4 衛生費 2 清掃費 2 塵芥処理費

① 塵芥収集費（環境政策課）

本市においては、市民 1 人当たり年間212k g のごみが、一般家庭から排出された。

これらのごみの収集は、可燃物を週 2 回、資源物（分別収集）月 2 回、粗大ごみや不燃物は随時実施し、市民の協力のもと環境美化に努めた（収集量：乙訓環境衛生組合統計による。）。

1 ごみ等収集量

(1) 一般家庭ごみ (単位：t)

種 別	収 集 量
可 燃 物	10,516.9
分 別 収 集	990.1
不 燃 物	75.3
粗 大 ご み	109.9
合 計	11,692.2

(2) 事業系ごみ (単位：t)

種 別	収 集 量
可 燃 物	3,495.5
分 別 収 集	0.0
不 燃 物	0.0
粗 大 ご み	190.0
合 計	3,685.5

○有料ごみ

処 理 件 数	2,919件
手 数 料 総 額	6,089,300円

2 分別収集量 (内訳)

分 類	収 集 量 (t)	率 (%)
空 カ ン	130.9	13.2
空 ビ ン	336.1	33.9
そ の 他 不 燃	267.8	27.0
ペ ッ ト ボ ト ル	78.7	8.0
その他プラスチック	160.4	16.2
廃 乾 電 池	9.5	1.0
蛍 光 灯	6.7	0.7
合 計	990.1	100.0

3 ごみ減量のしおりの配布

ごみの減量化・再資源化、ごみの適正な出し方に関する啓発を行うため、ごみ減量のしおりを作成し、各家庭に配布した。また、転入者には窓口で配布を行った（作成数：23,000部）。

4 分別収集適正排出指導の徹底

分別収集を円滑に、より効率的に行うため、収集日等が守られていないステーションの定期的な昼夜巡回パトロール、立看板の設置、広報等により、マナーの向上に努めた。

4 衛生費 2 清掃費 3 し尿処理費

① し尿収集費（環境政策課）

1 し尿くみとり

市民生活の衛生及び環境保全を図るため、委託業者により、し尿収集を行った。

くみとり戸数	人頭制	174 戸	(年24回/戸)
	計量制	61 か所	事業所等 291 回
くみとり量		535 kℓ	

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。

2 浄化槽

設 置 数	489 基
浄化槽汚泥収集量	405 kℓ

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。